

1 「量の見込み」の概要

「市町村子ども・子育て支援事業計画」では、教育・保育提供区域ごとに、計画期間の「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」を推計し、具体的な目標設定を行うことが求められています。

量の見込みについては、子ども・子育て支援アンケート(以下、アンケート調査)の結果を用いて国の手引書(計算書等)で推計することを基本として、過大な見込み量(供給過剰)とならないように、現在の利用状況と比較検討を行っています。

2 「量の見込み」の考え方

(1) 国の手引書に基づく「量の見込み」の計算方法

- ① 設定区域ごとに計画期間における対象の子どもの数を推計します。
- ② アンケート結果から、子どもの年齢ごとに家族類型割合に区分した児童数を算出します。この家族類型割合には、保護者の就労希望を加算しています。
- ③ 家族類型ごとの施設や事業の利用意向率を②に乗じて見込み人数を算出します。

①人口推計 × ②年齢別・家族類型別割合 × ③利用の意向割合 = 見込み量

平成27年度に0歳児が必要とする認可保育所の保育人数

平成27年度0歳の子どもの数 388人	×	0歳児の共働き希望家庭の対象児童に対する割合 Aひとり親 6.8% Bフルタイム×フルタイム 50% Cフルタイム×パート 27.3%	×	0歳児の家族類型ごとに認可保育所の利用を希望する割合 A 100% B 73.7% C 83.3%	×	年齢区分・家族類型区分ごとに算出して合計する。 A 26.4人 B 143.0人 C 88.2人
------------------------	---	--	---	--	---	---

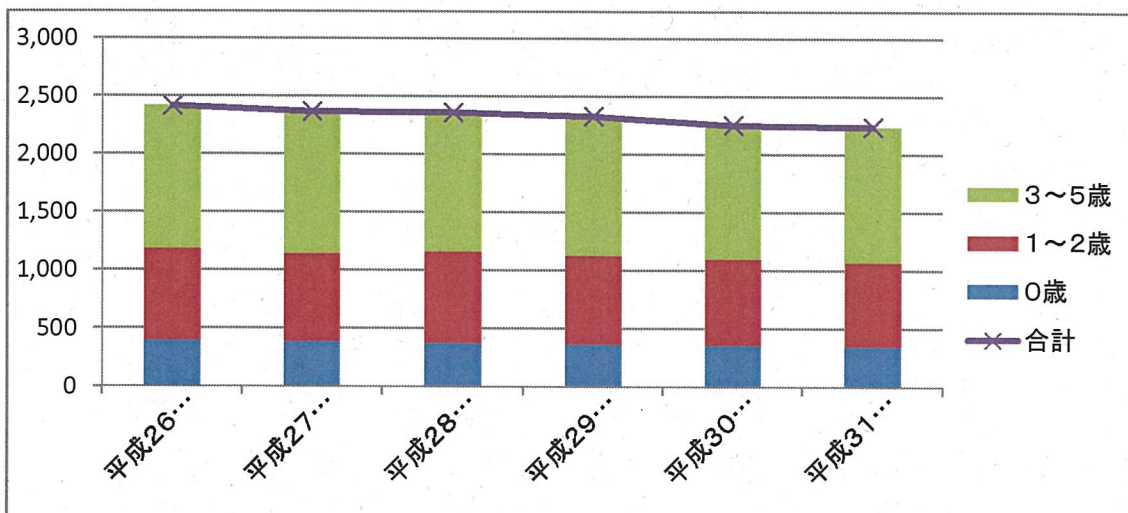
※ 潜在的なニーズ(保護者の就労希望や利用希望)が平成31年度まで、変わらないという前提に立っています。

(2) 人口推計

人口推計は、平成17年度から平成26年度までの0歳児人口を基に、第11次倉吉市総合計画で見込んだ人口減少率を乗じて算出します。

市域全体 各年度4月1日 (人)

年齢	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳	398	388	378	368	358	348
1~2歳	794	760	786	766	746	726
3~5歳	1,225	1,219	1,194	1,192	1,148	1,164
合計	2,417	2,367	2,358	2,326	2,252	2,238



(3) 家庭の就労形態による認定方法

フルタイム 週5日程度・1日8時間程度の就労
 パート フルタイム以外のパート・アルバイト
 無業 無業・専業主婦(夫)

		母親の就労形態		
		フルタイム	パート	無業
父親の就労形態	フルタイム	2号		
	パート			
	無業		1号	

		母親の就労形態		
		フルタイム	パート	無業
父親の就労形態	フルタイム	3号		
	パート			
	無業			

3 量の見込みの算出

(1) 国の手引書に基づいて算出した「量の見込み」

(人)

				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
3~5歳	1号認定	幼稚園	幼稚園のみ	94	92	92	89	90
	2号認定		幼稚園希望	88	86	86	83	84
1・2歳	3号認定	保育所	保育の必要	891	873	872	839	851
0歳	3号認定			524	542	528	514	500
				258	251	244	238	231

(2) 実利用者数との比較

実際の利用の状況を踏まえて量を見込む必要から、国の手引書により算出した見込み人数(平成27年度見込み)と実際の受入児童数(実受入児童数)とを比較します。

H26.3.1在園児数
(人)

【平成27年度見込み人数】

支給設定区分	1号 (3~5歳)	2号 (3~5歳)		3号 (0~2歳)	
		幼稚園の利用 意向が強い	その他	1・2歳	0歳
①H27 見込み人数	94	88	891	524	258
②H26実受入児童数	認定こども園	0	—	—	—
	保育所	—	980	579	202
計	246	0	980	579	202
①-②	-152	88	-89	-55	56
(対前年比率①÷②)	38.2%	—	90.9%	90.5%	127.7%

★1著しく過小な見込み

★2過剰な見込み